



にゅうどうぐも

## 入道雲はどうしてできるの

### しめ くうき じょうくう 湿った空気が上空にのぼっていく

にゅうどうぐも なまえ くも かたち あたま ちからも すがた  
入道雲という名前がつけられたのは、雲の形が、ぼうず頭の力持ちのおぼうさんの姿  
に似ているからです。

にゅうどうぐも せきらんうん くも  
入道雲は、積乱雲のことで、かみなり雲ともよばれています。

じめんちが しめ くうき すいじょうき くうき なつ  
地面近くにある湿った空気には、水蒸気がたくさんふくまれています。この空気が、夏の  
たいよう てる きゅう あたた はげ じょうしょうきりゅう じょうくう  
太陽などに照らされて急に暖められると、激しい上昇気流となって、上空にのぼって  
いきます。

### じょうくう きゅう ひ 上空で急に冷やされる

じょうくう くうき きゅう ひ じょうくう たいき ふあんてい  
上空にのぼってきた空気は、急に冷やされ、上空の大気が不安定だったりすると、  
にゅうどうぐも  
入道雲ができます。

くも なか じょうしょう くうき あめ こおり ま かこう くうき はげ  
この雲の中では、上昇する空気と、雨つぶや氷のつぶが混じった下降する空気が、激し  
いきお い みだ  
い勢いで入り乱れています。

くうき じょうくう おんど さ きゅう あたた じょうしょう くうき きゅう ひ  
空気は、上空へいくほど温度が下がります。急に暖められ上昇した空気は、急に冷  
にゅうどうぐも すいじょうき あめ こおり ねつ ほうしゅつ  
やされて入道雲になります。また、水蒸気が、雨つぶや氷のつぶになるときには、熱を放出  
します。この熱が、空気をおし上げるはたらきをしています。このようにして、入道雲は、  
はったつ おお にゅうどうぐも  
だんだん発達して大きくなっていきます。（監修・村山 貢司）

